

令和6年度 芦屋町学校教育の重点

芦屋町を誇りに思い、確かな学力と豊かなコミュニケーション力を持った児童生徒の育成

英語教育の充実

生涯にわたって必要とされる英語によるコミュニケーション力の育成を図ります。

- 英語の専科教員とALTとの授業で英語力を高めます。
- 英語力向上を目指した体験型英語学習海外ホームステイ事業を推進します。
- 英語検定試験を全額補助し、検定資格の取得を推進します。



ICT教育の推進

ICT機器を活用して、基礎的・基本的な学習の定着と個別最適な学び・協働的な学びを目指します。

- タブレット端末を活用して、基礎的・基本的な内容の繰り返し学習を個に応じて行います。
- タブレット端末を活用して、自己の考えの形成、相互の考えの共有・吟味を行います。
- ICT機器を活用して、総合的な学習の時間や特別活動の充実を図ります。



シビックプライドの醸成

芦屋町の「ひと・もの・こと」にふれあう活動を通して、芦屋町を愛し、発展させようとする心情を高めます。

- 芦屋町の歴史や伝統文化にふれます。
 - ・だごびーな・八朔の馬・古印作り体験、芦屋かるたの活用を図ります。
 - ・芦屋釜の里で呈茶体験を行います。
- 郷土を思う心を醸成し、地域への誇りや愛着を育てます。
 - ・校歌を通して、学校や地域の歴史を学びます。
 - ・「あしや学」を推進します。



小・中連携による学力向上の取組

小・中学校が連携して学習規律を確立し、児童生徒の学力の向上を図ります。

- 心がまえ、身がまえ、物がまえの指導の徹底を図り、学習規律の確立を図ります。



- 放課後塾で学力の向上を図ります。
- 習熟度別学習、補充学習、家庭学習の充実により、学習内容の定着を図ります。



芦屋の子どもは芦屋で育てる

芦屋町教育大綱推進プランの充実

(学力向上、豊かな心の育成、健やかな体の育成、芦屋型小中一貫・連携教育の推進、特別支援教育の推進、シビックプライドの醸成)